

『点訳フォーラム』より

【質問1】

一語中で、月と日を省略して書いてある「八・一八政変」は特定の事件、などがついて複合名詞の扱いになるということで、「数8数18■ジケン」と日付はつづけて書いてよいでしょうか？

以下の文の中に「八・一八政変」があります。

これは公武合体派の薩会両藩が長州寄りの尊攘激派公卿の動きを封殺した宮廷クーデターであり、「文久三年八月十八日の政変」縮めて「八・一八政変」ともいう。

【回答1】

お考えの通り、数8数18■セイヘン と書きます。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

【質問2】

以下の文の中にある、「(十二時＝同)」同の書き方ですが、原本通り「(数12ジ■＝■ドー)」と書いた方がよいでしょうか？または、「ドー」とそのまま書くと、わかりづらいので「(数12ジ■＝■ヒッシャチュー)」に置き換えたほうがよいでしょうか。

以下の文の中に「(十二時＝同)」があります。

慶応二年(一八六六)第二回目の長州征伐が令せられ、石州の戦争が起こった。同年六月十六日、長州石見口の参謀大村益次郎をはじめ井上聞多(馨＝原注)・杉孫七郎・河野通融らの指揮する一千余騎の長州兵は、早くも浜田藩と津和野藩との領境、多田の扇原の関門に攻め寄せた。時に扇原の関門は関尹(関所の役人＝筆者注)岸静江国治をはじめ、わずか数名の武士と多田あたりの狩人十数名によって守備されていた。

同日午後九つ時(十二時＝同)、一人の長州藩士が使者として関門を訪れ、関門の通過を…

【回答2】

質問の文脈では「ドー」が何を指すのか、わかりにくいと思いますので、「ヒッシャ■チュー」と書いた方がよいと思います。

(十二時＝同) → (十二時＝筆者注)、

この本で、全巻を通じてこのような書き方がとても多い場合は、書き方を工夫して、点訳書凡例で断って、その都度「ヒッシャ■チュー」と書く事を避ける方法もあると思います。

たとえば、原注は、第1カッコでかこみ、(カオル)、筆者注は、第2カッコで囲み、〈セキシヨノ■ヤクニン〉〈数12ジ〉などと書くようにすれば、マス数を節約できると思います。

点訳書凡例で

第1カッコで (馨＝原注) 原注 → () → (馨)

第2カッコで (関所の役人＝筆者注) 筆者注 → 〈 〉 → 〈関所の役人〉

5.p34 1. 数字を漢字音で発音する場合 (2)

用例「3・11大震災(数3数11■ダイシンサイ)」と、p195 3.の「12・31(12月31日の略記)(数12■数31)」の違いは、広く認知されているような日付は続けて書くという考え方でよいのでしょうか。

【A】

2001年9月11日のアメリカのテロ事件を指す「9・11」は、「9・11事件」でも、単に「9・11」でも、「数9数11」と書いてよいと思います。「3・11」も同じです。これに対して「9月11日 理事会」などのような場合の略記には、「数9■数11」が最も一般的ですが、そのほかにも p195 3.に示したような書き方があります。月日の略記にはいろいろな方法がありますが、そのなかで、特定の事件、「あのできごと」と言えるものを指す場合や、後ろに「事件」や「震災」などが付いて複合名詞の扱いになる場合には、一続きに書いてよいでしょう。

6.p34 1. 数字を漢字音で発音する場合 (2)

原文:本木雅弘を映画「226」にキャスティング「226」の表記の仕方について、以下のように意見が割れています。

①数2数2数6

中点などで区切りもないので、原本通り表記したほうが良い。

②数2数26

二・二六事件を扱った映画であることは調べでわかったので、日付のように表記した方がよい。

点訳者の姿勢として、「原本尊重」「意味を伝える」どちらを重視するのがよいのでしょうか。

【A】

二・二六事件を扱った映画でしたら、数2数26と書きます。

墨字の表記は多様ですので、内容を調査して書くことが必要になります。

「8020 運動」も、「8020」と書いてあっても、80歳で20本という意味ですので数80数20と書くことになります。

(2) 1語中で、月と日を省略して書いてあるときや、数字が並んでいるときは、中点などがあってもそれを省略して続けて書く。[\(こちらを参照\)](#)

二・二六事件 [㊦ 2 ㊦ 2 6 □ ジケン]

3・11大震災 [㊦ 3 ㊦ 1 1 □ ダイシンサイ]

七五三 [㊦ 7 ㊦ 5 ㊦ 3] 六三三制 [㊦ 6 ㊦ 3 ㊦ 3 セイ]

五七五 [㊦ 5 ㊦ 7 ㊦ 5]

『点訳フォーラム』より

【質問1】「思い出し伝える」「狙い撃ち続ける」「踵を返し駆け出す」「持ち上げ去っていく」切れ続きについて質問です。

フォーラムで複合動詞の目安として、二つの動詞が合わさって一つの動作・状態を表す。二つの動詞の主体が同じである。時間的にかけ離れていない。動作や状態の方向が一致している。二つの動詞が「～て(ながら)・・・する」のような一連の動作になっている。

ちなみに、本文は以下のようになっていました。

部屋を訪れた理由を思い出し伝える。

鬼丸を狙い撃ち続ける。

踵を返し駆け出す。

小鳥たちを持ち上げ去っていく。

【回答1】

部屋を訪れた理由を思い出し伝える。

「理由を思い出す」と「理由を(～に)伝える」のでは一連の動作とは少し異なる
と思いますので ⇒ オモイダシ■ツタエル

鬼丸を狙い撃ち続ける。

「続ける」は前の動詞と複合動詞を作る語ですので、「鬼丸を狙い、撃ち続ける」と考えて
⇒ ネライ■ウチツヅケル

踵を返し駆け出す。

「きびすを返す」と「駆け出す」はそれぞれ別の動作と考えてよいと思いますので⇒
キビスヲ■カエシ■カケダス

小鳥たちを持ち上げ去っていく

「持ち上げる」と「去っていく」は、それぞれ別の動作としますので ⇒
モチアゲ■サツテ■イク

【質問2】本文中に「着物に^{き が}着替えた。」ルビが「キガえた」になっていますが、点字では複合動詞は連濁しないということで、「キカえた」と書いてよいでしょうか。

【回答2】ルビに拘わらず、キカエタと書いてよいと思います。

着替えた →

きがえ【着替え】 キガエ

きがえる【着替える】

キガエ\ル 因 肝 腎 キカエ\ル 因

キガエ\ル, キガエ\ナイ, キガエマ\ス,

キガ\エ, キガ\エテ, キガエ\レバ,

キガエヨ\



『点訳フォーラム』より

4. p14 3. 調査

着替える 読み ①キカエル ②キカエル
〔「着替え」(名詞)は〔キガエ〕〕



「着替える」について

名詞の場合は「きがえ」ですが、動詞なら「きかえる」と教えられてきました。

NHKの「ことばのハンドブック」では初版で「きかえる」、2版では「きがえる」と変わってきているようです。「きがえる」と点訳してよいのでしょうか？

【A】

「着替える」の本来の読みは「キカエル」ですので、点訳者の姿勢としては、「てびき」p14「3. 調査」に書かれているように、「キカエル」と点訳した方がよいと思います。

「着替え」《きがえ》は連濁となり、「着替える」《きかえる》は連濁とはならないことは、「動詞＋動詞」の複合動詞は連濁しないという原則にもあっています。分かりやすい例として、「手放す」《てばなす》、「切り放す」《きりはなす》などがあります。

現状でも、ほぼすべての「国語辞典」が「きかえる」になっていますので、文字である点字としては、「きかえる」でよいと思います。

なお、話し言葉では「きがえる」の方が多くなっているので、「NHKことばのハンドブック第2版」では、1番目と2番目を逆転させて、「きがえる」が、1番目の読みになっているようです。

6. p14 3. 調査

漢字の読み方について、例えば、依存(いそん)・着替える(きかえる)などは、以前はそのように辞書に載っていましたが、最近の辞書には、「いそん・きがえる」と読み方が変わっているものもあるようです。そのようなときには、点訳も読み方を変えて読んだ方がよいのでしょうか？

【A】

数多くの国語辞典が出版されていて、それぞれの国語辞典には特徴があります。改版の時に世相を反映した読みを取り入れる辞典もありますので、そのたびに点訳での読みに迷うこともあります。ただ、点訳では、最新の国語辞典が変化しても、多くの国語辞典が変わらないのであれば、従来の(本来の)読みを変えないという姿勢になると思います。国語辞典の中には、ある版で新たな読みを採用したのに、次の版で本来の読みに戻した例もありました。ですから「てびき」p15にもあるように基本的な複数の辞書を比較調査することが必要になります。

点訳は口語(話し言葉)ではなく、文語(書き言葉)ですので、できるだけ本来の読みを維持していくのがよいと思います。

放送で言葉の読みが変わっていくこともありますが、放送は話し言葉ですので、点訳ですぐに受け入れるのではなく、辞典などの動向を見ながら判断するべきと思っています。

文学作品は何年も前に書かれたものもあり、また今後何年も残っていくものですので、できるだけ本来の読みを採用していく姿勢が大事だと思います。

「依存」「着替える」については、「いそん」「きかえる」でよいと思います。

ただ、各辞典で語義の載っている読みが分かれている場合などは、校正では点訳者の読みを尊重することになります。

25.p193 2.マーク類の書き方

広報の点訳で、広報原文にQRコードがあるという事を説明するために

〇〇〇～。(ここまでが文)

のあとに、そのページのどこどこに関連のQRコードの記載ありと説明をいれる際、原文の句点で改行し、次行二マスあけてから点訳挿入符内にQRコードの記載がある説明文が書かれている場合。(だいたい2行程になっています)

...本文.....。改行

■■点挿QRコードが～あります。点挿 改行

■ ■ 本文……………。

上記のような形です。

本来の使い方とは違うような気はするのですが、表を書く場合は表の中で点訳挿入符で表の形式等の説明を入れて書くので、間違いとは言えないのかと校正せずそのままにしていますが、どうなのでしょう。

【A】

点訳のままで、間違いとは言えないと思います。

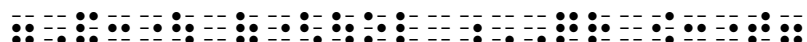
ですが、広報の場合、おそらく毎号に多くのQRコードがあって、説明を入れることも多くなると思います。急速にQRコードの表示が多くなってしまったので、毎回丁寧に説明していると読んでいて邪魔になることもあるかもしれません。

広報の場合は、第1カッコで(ページ右下にQRコード)ぐらいの簡潔な説明の方がよいように思います。このような説明は、どの書き方が間違いないことはありませんが、話し合って毎回決まった説明をするのがよいと思います。

たとえば、短いお知らせがたくさんあって、その全てにQRコードが付いている場合もあります。そのような場合は、見出しの下に(各項目の最後、右下にQRコードあり)のようにまとめてもよいと思います。

広報の場合は、第1カッコで

(ページ右下にORコード)



短いお知らせがたくさんあって、その全てにQRコードが付いている場合は見出しの下に

(各項目の最後、右下にQRコードあり)



26.p193 2.マーク類の書き方

現在点訳している本(『崖っぷちの老舗バレエ団に密着取材したらヤバかった』)は YouTube で公開している動画の内容をもとに、動画撮影者が語ったノンフィクションです。

エピソードのいくつかは、「密着動画」として、関連するQRコードが付されています。

QRコードを読み取ると YouTube の動画が見られるのですが、原本に記されていない YouTube の URL を点訳書に入れてもよいでしょうか。 それともQRコードが付されていることだけを断ったほうがよいのでしょうか。

【A】

一般には、QRコードがあることを示すだけになりますが、特に必要と感じた場合は、《原本にはないが、URL を記した》ことを点訳書凡例で断って記すことも可能です。必要な情報であれば親切だと思います。

30.p193 2. マーク類の書き方

宣伝パンフレットに「詳細はこちら→」とあり、URLのQRコードがあります。どうすればいいでしょうか。

【A】

最近、パンフレットもそうですが、広報誌などでも、このような表現が多くなりました。

原文通りに「詳細はこちら →」とだけ書いても意味がありませんので、点訳に当たっては、

ショーサイワ■コチラ■→■原文〇〇ページ右下にQRコードあり

または、単に「QRコードあり」「墨字版にQRコードあり」といれるなど、原文に合わせて、QRコードがあることを知らせるのがよいと思います。

点字資料を読む方が自分でアプリを操作しなくても、周囲の人に検索してもらって情報を得ることもできます。

原文の種類や、同じ情報が原文に掲載されているなど、QRコードの情報が不要と判断した場合は、省略することもあります。

原文の種類や文脈によって判断してください。

詳細はこちら→[原文〇〇ページ右下にQRコードあり](#)

詳細はこちら→QRコードあり

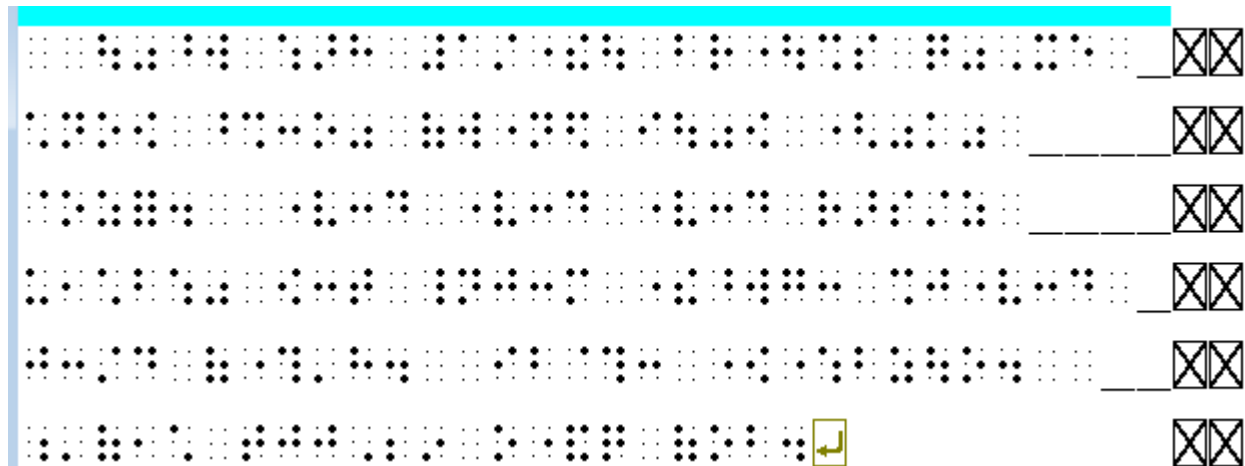
詳細はこちら→[墨字版にQRコードあり](#)

『点訳フォーラム』より

【質問】 本のなかで読点がなく読みづらいのではないと思う箇所が数か所あるのですが、原本にない読点を補って点訳することは可能でしょうか？

原本通りに、分かち書きだけで点訳した方がいいのでしょうか？

読点をつかって、書かれている部分もあります。



例

しんじょサヨリー夜干しイチジクの天ぷら活タコ牛舌味噌つけお新香ざんなん茶豆。ビールビールビール千代乃山八海山コートデュローヌボジョレー黒ビールローヤル水割り。おいしゅうございました。“三日とろろ”を食べてみたい。

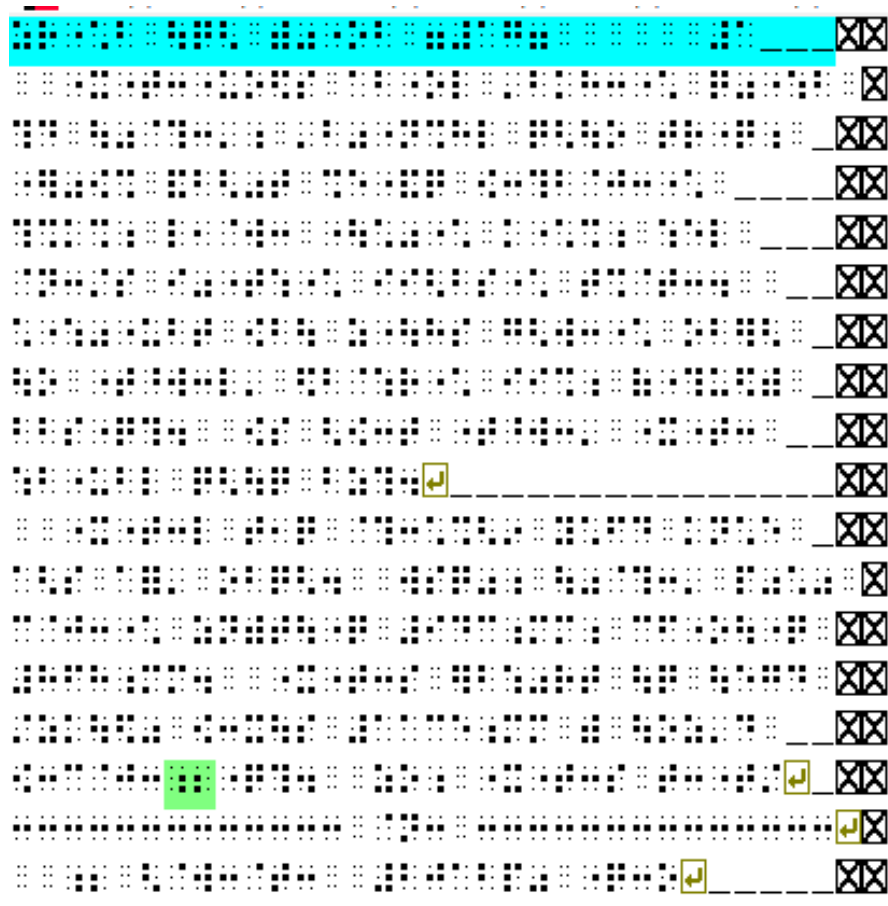
九月十一日（月）
夜、本の打ち上げで神田明神ちかくの蕎麦屋。H社のS谷さんK山さん、Hさんは風邪、雑誌「H」のO橋さん、装丁のIさん。しんじょサヨリー夜干しイチジクの天ぷら活タコ牛舌味噌つけお新香ざんなん茶豆。ビールビールビール千代乃山八海山コートデュローヌボジョレー黒ビールローヤル水割り。おいしゅうございました。“三日とろろ”を食べてみたい。
K山さんが匂いフェチであることを告白。今まで

【回答】

意図的に読点を使用しないで書かれた言葉遊びのような文章でしょうか。

点字では分かち書きをすれば、墨字よりむしろ分かりやすいともいえますので、原文のままでよいのではないのでしょうか。

備考1 文中注記符をつけた語句の注記をそのページの下部に収めて書く場合は、行頭から行末まで1行全てに②⑤の点を書いた線（全マス実線）で1ページを上下に分ける。この場合、ページが変われば本文に戻る。
 なお、実線上に、「チュー」などと書き入れることができる。



[189 ページ]

コラム 34

注記や写真説明などの入れ方

本文が終わって次の見出しが始まる前に、注記や写真説明などを挿入するとき、その間に仕切りのための線を入れたり、段落と段落の間に入れる場合は、枠線を使用したりすると分かりやすいでしょう。

区切り線は1行あけより大きな区切りを示しますので、見出しと見出しの間を1行あけにしている場合には、それより小さい区切り目には用いることができません。そこで、行頭のあけ幅を4マスか6マス程度にして、行の中央か少し後ろまで、仕切りのための線を引きます。②⑤の点または②の点を用います。

下に一例を示しますが、点の種類や行頭のあけ幅、マス数は特に決まったものではありません。分かりやすく読みやすいように工夫しましょう。

《段落と段落の間に注記を入れる場合の例》

固定電話の通話時間と行為者率を2005年と2010年で比較すると、全体平均では両者とも減少傾向にある*。携帯電話の普及による結果と考えられるが、年齢層別にみると、それぞれ異なったパターンを示している。

まず、10代は通話時間が0.3分、行為者率が1.2%でありほとんど利用されていない。完全に携帯電話の影響と考えられる。～

* 電話の通話時間については 2000 年調査までと 2005 年以降の調査では回答の記入形式が異なるためここでは 2005 年以降のデータのみを比較した。

□□コテイ□デンワノ□ツーフ□ジカント□コーイシャリツヲ□
 ♪2005ネット□～□ゲンショウ□ケイコーニ□アル♪♪♪□□

[illegible]

《見出しの変わり目に注記を入れ、1行あけて次の見出しを書く場合》

～社会的障壁に目を向ける社会モデル*¹の視点を持つことが必要になります。

* 1 社会モデル：障害を主として社会によって作り出された問題と見なす
障害のとらえ方

シャカイテキ□ショーヘキニ□メヲ□ムケル□シャカイ□
モデル♪♪♪1 ♪ノ□シテンヲ□モツ□コトガ□ヒツヨーニ□
ナリマス♪
□□□□ ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

[illegible]